

# ロシアによるウクライナ侵略を強く非難する決議

全会一致で決議案を可決しました。  
要旨は次のとおりです。

ウクライナをめぐる情勢については、昨年末以来、国際社会が緊張の緩和と打開に向け外交努力を重ねてきた。しかし、2月24日、ロシアはウクライナへの武力攻撃、侵略を開始した。

今回の行動は、明らかにウクライナの主権、領土の一体性を侵害し、武力の行使を禁ずる国際法の深刻な違反であり国連憲章に反するものである。また、プーチン・ロシア大統領は核兵器の使用を示唆する発言を行うなど、その一連の行為は平和非核都市を宣言している本市の願いを踏みにじるものであり、強い憤りを覚える。

このようなロシアの力による侵略行為は断じて認められず、強く非難するものである。ロシアは国際社会の強い自製の求めにもかかわらず侵略行為を継続しており、ウクライナ各地における市民への被害の拡大も深く憂慮される。

福山市議会は国際社会の恒久平和を世界に訴えつつ、ウクライナの主権、領土の一体性、独立を支持することを改めて表明し、日本政府が経済制裁や人道支援において、国際社会と一致した措置を取ることを支持する。重ねて、ロシアに対し、直ちに侵略行為を中止するよう強く求める。

全文はこちら →



## 議員研修会

### 「水野勝成の福山城築城 —その魅力と歴史的意義—」

講師

静岡大学名誉教授

小和田 哲男さん

1月20日に議員研修会を開催しました。「麒麟がくる」(2020年)など、数々のNHK大河ドラマの時代考証をご担当されている小和田哲男先生をお招きし、ご講演いただきました。

福山城築城の記録がある「寛政重修諸家譜」によると、一国一城令により新たな城は建築していな



かったといわれる1622年(元和8年)、初代藩主水野勝成は、西国大名の監視と防衛拠点の狙いとして10万石の地に50万石級の大 きな城郭を築きました。通常完成には7、8年かかるところ、わずか2年で完成できたのは当時の將軍徳川秀忠から重要視され相当の公金が投入されたのではといわれています。当時、北側面総鉄板張りの天守の建築はとても珍しかったそうです。

また、京都の伏見城から櫓を移築するなど、当時としては異例づくめの築城であったことも記録されています。将来的にこの伏見城から移設された櫓(伏見櫓)は国宝になる可能性もあるとのこと。現在、国内には約4、5万の城があるといわれる中で、わが福山城は(公財)日本城郭協会が選定する100名城の一つでもあります。今回得た歴史的教養を政治活動に生かし、築城400年を迎えた福山城のさらなる魅力の発信に取り組んでまいります。

#### ◆講師紹介

1972年早稲田大学大学院文学研究科博士課程修了。  
現在、静岡大学名誉教授、文学博士(公財)日本城郭協会理事長

※寛政重修諸家譜：幕府が諸大名・旗本から家譜を提出させて編さんした系譜集

## 編集後記

3月定例会では、今後の感染症対策、社会経済活動、災害対策などの幅広い視点で、2022年度当初予算について活発な議論を行いました。

また、福山市議会では、「ロシアによるウクライナ侵略を強く非難する決議」を全会一致で可決し、武力による侵略行為に対し、国際社会の恒久平和を広く世界に訴えました。

この編集後記の執筆時点においては、いまだ事態収束の道筋が明らかとなっていない一瞬も早い停戦と平和的解決を心から願っております。

(三好剛史)



この印刷物は、印刷用の紙へリサイクルできます。

【ホームページアドレス】 <https://www.city.fukuyama.hiroshima.jp/site/gikai/>

【メールアドレス】 [giji-chousa@city.fukuyama.hiroshima.jp](mailto:giji-chousa@city.fukuyama.hiroshima.jp)

※[QRコード]は(株)デンソーウェアの登録商標です。

市議会はこちら →

